

2022年3月4日

令和3年度がん対策推進企業表彰における 「厚生労働大臣表彰 最優秀賞」受賞について

アフラック生命保険株式会社（代表取締役社長：古出 眞敏）は、厚生労働省の委託事業である「がん対策推進企業アクション」による令和3年度がん対策推進企業表彰において、「厚生労働大臣表彰 最優秀賞」を受賞しました。

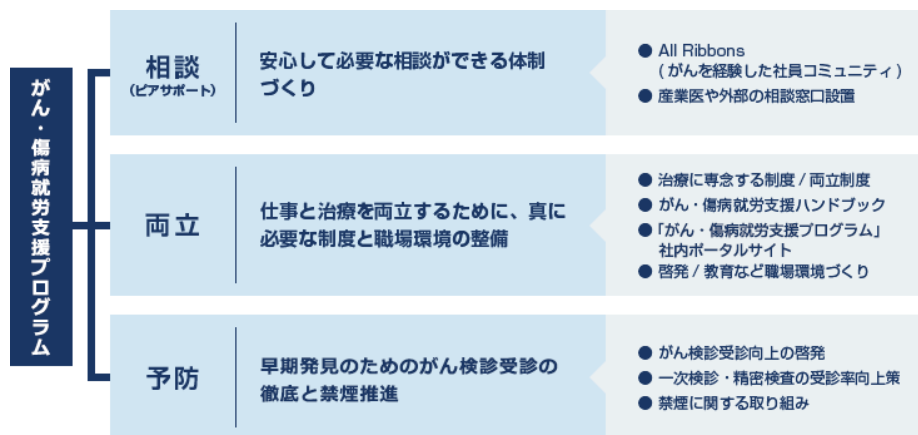
本表彰は、厚生労働省が推進する国家プロジェクト「がん対策推進企業アクション」が、がん対策に積極的に取り組む企業を表彰する制度です。「がん対策推進企業アクション」には、現在、推進パートナーとして約3,500の企業・団体が登録されています。

当社は、1974年に日本初のがん保険とともに創業して以来、長年、がんに関する啓発活動を社内外で展開しており、「がん対策推進企業アクション」が2009年に発足した当初から推進パートナーとして、社員に対するがん検診推進を含むさまざまな取組みを継続して行ってきました。その結果、現在、当社のがん検診受診率は高い水準を維持しています。さらに、2018年には、「がんや病気にかかっても安心して自分らしく働ける」ことを目指して、「相談（ピアサポート）」「両立」「予防」を3本柱とする「がん・傷病 就労支援プログラム」を整備し、仕事と治療を両立するための職場環境作りや、がんを経験した社員のコミュニティ「All Ribbons」の活動なども行ってきました。

今般、こうした取組みが高く評価され、「厚生労働大臣表彰 最優秀賞」を受賞しました。

【がん・傷病 就労支援プログラム】

社員が「がんや病気に罹っても安心して自分らしく働く」ことを支援するため「がん・傷病 就労支援プログラム」を整備し、がんを経験した社員コミュニティ「All Ribbons」の活動を展開するなど、がん治療と仕事の両立支援の取組みを実施しています（詳細は <https://www.aflac.co.jp/corp/esg/innovation/health-management/cancer.html> をご覧ください）



当社は、創業 50 周年を迎える 2024 年に向けて「Aflac VISION2024」を掲げ、「生きる」を創るリーディングカンパニーへの飛躍を目指して、中期経営戦略（2022～2024 年）の実現に取り組んでいます。その戦略の一つである『『生きる』を創るエコシステム戦略』を実行するために、がんに関わる幅広い社会的課題を解決すべく、企業における「就労支援」を始め、さまざまなステークホルダーが連携・協業する「がん生態系」の構築に取り組んでいます。これからも「がんに苦しむ人々を経済的苦難から救いたい」という創業の想いのもと、社会と共有できる価値（Shared Value）を創造（Create）する企業経営（＝CSV 経営）を実践し、さまざまな取組みをさらに推進してまいります。